

第9回杉並第二小学校校舎改築検討懇談会

会 議 名	第9回杉並第二小学校校舎改築検討懇談会
日 時	令和2年3月24日（火）午後1時00分～午後2時13分
場 所	杉並第二小学校 地下 家庭科室
出 席 者	懇談会委員 14名
傍 聴 者	0名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 杉並第二小学校改築基本設計まとめ（案）について 3 その他 4 閉会
資 料	資料1 第8回懇談会以降にいただいた主な意見・要望 資料2 杉並第二小学校改築基本設計まとめ（案） 資料3 杉並区立杉並第二小学校改築 太陽光発電システム設置容量検討

司会	<p>本日は杉並区立杉並第二小学校校舎改築検討懇談会にご出席いただきまして、まことにありがとうございます。</p> <p>3月からコロナウイルス感染拡大防止のため、区内の小学校・中学校・高校等において、臨時休業の措置をとっているところです。それに伴い懇談会の開催可否についても検討いたしました。参加者が特定でき、比較的小規模な会議であることや今回が最終回ということも鑑みて、開催する運びとなりました。</p> <p>会議の運営については、コロナウイルス感染予防の趣旨を踏まえて、およそ1時間程度を目安に進行できればと思います。ご協力をお願いいたします。また、換気をし、マスクを着用の上、マイクを使わないように考えておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは、資料の確認をお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>資料の確認ですが、次第と資料1「第8回懇談会以降にいただいた主な意見・要望」、資料2「杉並第二小学校改築基本設計まとめ（案）」、資料3「杉並区立杉並第二小学校改築 太陽光発電システム設置容量検討」、あとは委員か</p>

	<p>らのゼロエネルギー建築の提案、以上4件になりますが、お手元にございますでしょうか。</p>
司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次第の2「杉並第二小学校改築基本設計まとめ（案）について」、議事に入りたいと思います。</p> <p>これまで8回にわたる検討懇談会の議論について、事務局からまとめが資料として出されています。</p> <p>事務局から説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>まず、資料1についてご説明させていただきます。前回以降にご質問を呼びかけまして、いただいたご意見・要望を資料1にまとめたものがこちらになります。</p> <p>2つに分かれていて、基本設計（案）に反映したものはのちほど図面を使用して詳細に説明させていただきますので、省略させていただきます。</p> <p>もう1つ、実施設計で検討する予定ものは、個別の内容のものがございましたので、4月以降に検討していきたいと考えております。</p> <p>今回の実施設計で検討する予定ものの1つ目で、5年生が改築に関するプレゼンテーション（お楽しみ授業）をやられて、さまざまな案が出たということで、その意見を入れてほしいというご要望がありました。今日も廊下に5年生が作成したポスターを貼らせていただいています。そちらを取りまとめたいただいた委員から、簡単にご報告していただければと思いますので、よろしくをお願いいたします。</p> <p>では、スライドをご用意しますので、ご覧ください。</p>
委員	<p>杉並第二小学校ではPTAが主体となり、各学年に応じて先生方と相談して「お楽しみ授業」という形で、PTAの有志の方々、PTAで司会進行を行いながら授業を行っていく、1年に1回のイベントがあります。</p> <p>今回、こういった改築という貴重な機会に子どもたちもぜひ参加してもらえたらという意見があり、また、お父さんの会のご協力のもと、校舎改築について考えようということで、お楽しみ授業を行いました。</p> <p>4回にわたり授業を開催したのですが、まず建築家として働いていらっしゃるお父様に、建築とはどういうものかということ、あとは杉二小の歴史についてお話をいただきました。2回目からは子どもたちが参加して、まずはどういった校舎ができるであろうか、どういった感じの学校にしたいかということをもとに12個のチームに分かれて、話し合いを重ねました。</p> <p>今度は、自分たちが出し合った案をきちんと形にしていこうということで、ポスターをつくりました。今、廊下に貼っていただいていますポスターを10月から作成し、12月の発表会に間に合うよう、子どもたちの手で、先生のご協力のもと仕上げることができました。</p> <p>（以下、スライドを見ながら）</p> <p>これは最初の皆でどういったことをしていこうかという話し合いをしている</p>

	<p>風景です。グループに分かれて進めていきました。</p> <p>今度は、ポスターをつくるに当たって校庭、校舎、ビオトープというチームにそれぞれが分かれて、文字や絵にして、それぞれ子どもたちの表現しやすい方法で作成している授業風景になります。</p> <p>最終的にポスターができ上がり、この日は環境整備課の皆様に出席していただき、子どもたちの発表、プレゼンテーションを見ていただきました。</p> <p>子どもたちなりに本当に一生懸命考えて、大人だけでは考えられない発想が出ました。そこから現実的に私たち大人が子どもたちの案をどうやって吸い上げることができるかということを、このプレゼンテーションを通して、また、真剣に子どもたちが向き合っている姿から、私たちも学ばせてもらうことができました。</p> <p>何がお願いかというと、今の5年生は全く新しい校舎にかかわることができません。入ることもできません。ですが、今、通学し利用して学校のことを一番知っている子どもたちが一生懸命、本当にきらきらした顔で発表していたので、このポスターに書いてあることの全てをかなえることは無理だとわかるのですが、大人が吸い上げ、実現するという形にしてもらえれば、子どもたちにとってはすごく自信につながると思います。</p> <p>今回のこの授業を通して、私たちも改築委員として一生懸命話し合ってきましたが、子どもたちの話し合ってきた内容もできる限り取り入れていただければと思います。</p> <p>以上です。</p>
司会	<p>ありがとうございました。何かご質問等はございますか。</p> <p>廊下に実際のポスターが貼ってありますので、お帰りの際にぜひご覧になってください。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、資料3に進みますので、事務局からお願いします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>前回までに、何度か委員から太陽光発電システムの設置容量について検討してほしいという話がありました。今回の配置でどのくらい太陽光発電の面積等が置けるかどうかを試算しましたので、その説明をさせていただきます。</p> <p>説明の前に、まず委員から簡単に説明をお願いします。</p>
委員	<p>今回も事前に資料を皆さんに郵送していますので、ご覧になったと思います。</p> <p>今、杉並区でも立派な建物を建てようということで皆さん一生懸命努力しているわけですが、この中で教育長がいつもおっしゃっていた持続可能な教育という言葉。この持続可能というのは地球環境をどうしようかということから生まれた言葉ですが、このことが改築基本方針に入っていないのは非常に残念です。</p> <p>できれば、具現化するものとして一番コスト的にも安く、効果がある太陽電池が一番いいのではないかと思います。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>資料3については、設計事務所から説明をお願いします。</p>

石本建築事務所	<p>資料3を簡単にご説明いたします。</p> <p>結論から申しますと、プールの脇、体育館の屋根上が設置可能な範囲と言えます。ランニングコスト試算資料の(1)、(2)と太陽光発電システムの設置範囲についての1から4番の設置条件を考慮し、このあたりが限界ではないだろうかというところでセレクトしました。</p> <p>1番の校庭をなるべく広く確保すること、2番の緑化条例の面積確保、3番の校庭への日影、それと4番の屋上に設備機器を置くこと。その辺を加味して場所を探していたところ、この1)、2)という場所が妥当ではないだろうか、こちらにつきまして杉並区と協議しております。</p> <p>資料右側はシステム導入効果試算資料で、パネルの枚数や現状での初期費用とコストを算定した結果、このような数字となっておりますので、ご報告します。</p>
営繕係主査	<p>事前に資料をお送りした中で、委員から追加でご質問をいただいておりますので、それについてご回答したいと思います。</p> <p>1番目として体育館の屋根ですが、まだパネルが70枚程度追加できるのではないかとのご質問をいただきました。体育館の屋根につきましては、災害時にヘリコプターによる応急対応活動を行う際の目印とするため、東京都と連携し、区の所有する建築物等の屋上にヘリサインを設けております。</p> <p>今回の資料では、「体育館」の文字が重なっておりますが、その下に「杉二小」という3文字を記載しており、体育館の屋上の一部分を使用しております。</p> <p>さらに太陽光パネルの設置範囲につきましては、周囲のメンテナンススペースを設けること、それから今回は勾配屋根を想定しておりますので、安全対策等を考慮した手すりをつけることになるとは思いますが、その安全対策等を考慮した場合の標準的な設置可能範囲として、パネル140枚分ということで絵を描きました。</p>
委員	40枚ぐらいの追加ということですか。
営繕係主査	現在が140枚です。資料の太陽光パネルレイアウト2)体育館というところで、発電容量41.0kwとなります。
委員	それは看板で、看板が見えなくなるから駄目ということか。
営繕係主査	看板ではなくて屋根に直接ペイントします。
委員	飛行機から見えないというだけのために駄目ということか。
学校整備担当部長	ヘリコプターがおりに、上から見えなければ駄目なのです。
委員	わかりました。
営繕係主査	<p>続きまして2点目の立面図、資料2の25ページにある外観図を見ると、屋上には多くの壁面があって、その壁面にパネルをつければさらに50枚程度の追加が可能ではないかというご質問をいただいております。</p> <p>回答としましては、太陽光パネルの発電量が最大になるのは傾斜約30度程</p>

	<p>度という試算があり、壁面、いわゆる垂直面に設置した際の発電効率は低くなることや、壁面の向きによっては反射光が近隣住宅の窓に差し込むことによって、まぶしい等の被害が出る可能性も踏まえまして、標準的な設置範囲としては検討しませんでした。</p> <p>また、設備機器の交換等には壁面にあった場合には足場の設置費用等のランニングコストがかかることも考慮して、標準的な設置範囲には含めていません。</p> <p>3点目としまして、いわゆる屋上園庭に屋上緑化がこんなに必要なのか。緑化がなければ、さらにもう少し設置ができるのではないかというご質問をいただきました。回答としましては、東京都及び杉並区の緑化条例の規定により、今回の敷地内と言いますと約2,450平方メートルの緑化面積を確保する必要があります。</p> <p>地上部では、現在約1,650平米程度の緑化面積を確保しており、残り約800平米程度を、屋上あるいは壁面等で確保する必要があります。東京都の条例におきましては屋上の緑化の整備基準もあり、その基準で言えば240平米程度が必要となっています。現在は700プラス若干程度の緑化面積を確保しており、それぞれ要件を満たす計画になっております。</p> <p>地上部の緑化面積について、今後さらに検討を進めていく中で代替の確保ができれば屋上緑化の面積については縮小することも可能と思いますが、詳細な検討については引き続き協議先の窓口とも打ち合わせをしながら進めたいと思います。</p>
委員	<p>関連質問ですが、東京都心のビルは条例によって、緑化するというのは大変いいことです。と言うのは外断熱になりますから。しかしながら、杉並区では都心を離れて三方緑に囲まれている環境にも係らず同様の要求をされるということですね。</p>
営繕係主査	<p>はい。特に地域で指定されているものではなく、床面積何平方メートル以上でどれくらいの緑化面積、といった感じです。</p>
委員	<p>要は条例によって、動かせないということね。</p>
営繕係主査	<p>そうです。</p>
委員	<p>だけど、もう少しは努力できるということですね。</p>
営繕係主査	<p>詳細な設計を進めていく中で算定したいと思います。</p>
委員	<p>次、お願いします。</p>
営繕係主査	<p>屋上のプール部分に、今10kw程度の太陽光パネルを設置していますが、さらに追加で設置できないのか。できない理由として、延床面積の関係があるのだらうと思いますが、その根拠を教えてほしいということでした。</p> <p>回答としましては、まずは面積算定の件ですが、今回、区で建築確認を出すのは杉並区の建築の審査担当になります。そこの事前の協議の結果、屋根の機能がいわゆる雨がかりをよけるものがあって、その下に人が過ごす用途があれば、基本的には延床面積に算入しますということで見解を示されております。</p>

	<p>ですので、今回10kw程度の太陽光パネルの下についても延床面積が発生するということで、全体の容積率の算定を行っております。</p> <p>ちなみに桃井第二小学校のプールサイドのひさしの下についても、既に同じように延床面積の算定となっており、同様の取り扱いということで見解が示されております。</p> <p>実は同じような考え方につきましては、今回の建物は東側の大階段から入ってくる経路についても、校舎が上にかぶっている部分は延床面積に算入するというので取り扱っております、屋根があつて下に人が過ごす場所があれば、延床面積算定という取り扱いになっています。</p>
委員	容積率に入らないということですか。
営繕係主査	いえ、容積率に入るといふ説明を今、さしあげているわけです。
委員	例えば、建物の中の車庫は屋根がついているが、容積率には入らないですね。
営繕係主査	それは法令上、除外すると明記されているかと思ひます。
委員	我が家もそれでつくっているのだが、まあいいや。では次に行ってください。
教育施設計画推進担当係長	<p>桃二小の太陽光発電の規模と改修年数等を計算してほしいという話でしたので、それについて説明します。</p> <p>まず、桃二小の太陽光発電の発電量は10kwとなっています。そちらについては杉並区エコスクール事業の方針や、杉並区の地域エネルギービジョンに基づいて、学校については10kw程度の太陽光発電を設置するとなっていますので、それに基づいて設置しております。</p> <p>太陽光発電については環境教育の一環として設置していることや区立小中学校は震災救援所となっておりますので、災害時も最低限度であるのですが、安定した電力供給を行って、電力会社の給電が復旧するまでの貴重な電源として活用することを目的としています。今、既に、区立の小中学校でも30以上の学校に同規模のものがついております。</p> <p>桃二小の太陽光発電の工事費ですが、大ざっぱに言って1,000万円程度。補助金は大体450万円程度です。桃二小の4月から2月の太陽光発電量が1万2,368kwでしたので、年平均で換算すると1万3,500kwぐらいと仮定します。</p> <p>電力単価が、資料3の表に基づいて16円24銭として計算した場合、大体年間21万9,240円のコスト削減効果があります。これらを基に計算すると10年後は出力機の交換等を含めて445万円ほどの赤字ということになります。</p> <p>19年後についても同様の計算をしますと、約250万円の赤字となりますので、機器更新の時期までにコストを回収するのは難しいということになります。</p> <p>桃二小のPVの規模については以上になります。</p>

	<p>あと、夏等に売電をするという話ですが、学童クラブが併設されており、学童クラブは夏休みにもやっていますので、太陽光発電はつくった電気をすべて消費しているのが実態でございます。</p>
委員	<p>桃二小の太陽光発電について、ぜひ資料で説明してくださいと、お願いしたのですが。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>個別的な内容になるので、来庁していただければ、詳細なデータについてお見せしながらご説明したいと思います。</p> <p>20年で機器更新というスパンで考えたときに、コストを回収するのは難しいということをご説明させていただきました。</p>
委員	<p>桃二小の太陽電池が、幾つかついていますますが、これは単なるマスコットにしましょう、それから飾りにしましょうということだったのですか。</p> <p>それとも、経済的にきちんと検討した上なのか。民間企業では許されないですよ。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>太陽光発電については、杉並区の今のエコスクール事業の方針や、地域エネルギービジョンを基に設置しました。エコスクール事業の方針等の作成に当たっては費用対効果も含めて計算しております。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>あともう1点。</p> <p>杉二小の改築の目玉方針が見当たらないというご指摘ですが、これまで8回議論をいただいて、これまでの委員の皆さんの意見を踏まえると、私の理解では、杉二小は三方を川に囲まれて丘になっている地形で、しかも周辺に史跡等もある。そういった地形を考慮して、配置や段差などを生かし、周辺環境と連続的な一体感がある設計をしていくことが、今回の杉二小の設計の特徴だと考えております。</p> <p>あくまでも学校ですので、まずは必要な機能を満たすことが重要です。また、公共建築ですので、他校との公平性なども配慮しなければならず、ある学校だけ突出した設備を設けるのが難しいことはご理解いただきたいと思います。</p>
委員	<p>おっしゃる意味は大変よくわかります。杉二小はすばらしい自然環境という、ある意味では親からもらう遺産と同じで、敷地の持っている価値があるところでは。</p> <p>これを利用するのは当たり前で、ほかの小学校がうらやましいと思うけれども、ぜひうちもと言っても、杉二小は遺産があれだけすばらしいのでそうしている。それを生かすのは当たり前であって、すごいポイントがもう1つほしいということで、ずっと言っているわけです。</p> <p>私は、ここにいらっしゃるほかの委員の方にもやっぱりそうだとおっしゃっていただきたかったが、もうしょうがない。全然反応されないから。</p>
司会	<p>まだまだ時代にテクノロジーがついてきていない状況もあるので、次に移らせていただきたいと思います。</p> <p>それでは資料2の説明を事務局からお願いいたします。</p>

<p>教育施設計画推進担当係長</p>	<p>資料2ですが、今回はまとめということで、これまでの議論をまとめました。1ページから15ページまでは、中間のまとめとほぼ同様の内容ですので、16ページからご説明します。</p> <p>15ページまでのところで、大きく東と南に寄せる校舎案の配置が決まったということで、A´1から3案について検討し、A´2案になったというところでは、</p> <p>次に18ページは中間まとめということで説明会を実施しました。懇談会や説明会等で、冬期における校庭への日影等についてご意見をいただき、変更案を第8回懇談会に提出して、19ページ以降の配置案に変更した経緯を記載してございます。</p> <p>19ページ以降については設計事務所と営繕課で、主に変更点を中心に説明いただければと思います。</p>
<p>石本建築事務所</p>	<p>それでは、19ページの計画の調整事項について、ご説明したいと思います。</p> <p>19ページから、今回進めていこうとしている杉並第二小学校の改築計画となりますが、前回の懇談会からさらにいろいろな意見をいただき調整したものにつきましては、赤枠で左肩上に【変更】と記載しています。</p> <p>概略を申し上げますと19ページの1階、左上の校庭上の倉庫については若干間口を広げてより使いやすくしたということ。それと、アリーナ脇に、前は家庭科室がありましたが、こちらは開放会議室と学校防災倉庫を校庭と体育館の近くに置くことで、防災時の使いやすさにも配慮しました。</p> <p>さらに南側に理科室がありますが、実はこちらにも配置を変えており、観察園の近くに配置するという調整をしております。それと右側ですが、放送室を北側のゾーンに移動しており、安全に利用しやすく調整しております。</p> <p>あと少し飛びましたが、西側に体育館を移動したときの体育館西側の空地。こちらについては駐輪場や舗装スペースを設けることにしまして、より使いやすさに配慮していこうとしました。また、マンホールトイレなども使いやすくしようと調整を考えております。</p> <p>さらに学校とも話し合いをしたところ、何らかのシンボルツリーがあるとよいということで、アリーナ、体育館の前に2本の大きなシンボルツリーを設けたらどうかというところで調整しております。</p> <p>20ページは2階、3階になりますが、先ほど話にも上がったとおり、前回記載のなかった「杉二小」のヘリサインを入れたところがございます。</p> <p>続いて21ページは、4階と地下1階になります。今回の敷地に対する緑化の要求面積を再度詳細に検討したところ、やはり校庭を広くとっていいという目的からすると、その分屋上緑化をせざるを得ないというところで、屋上緑化を広めていくことで調整しております。</p> <p>あとは、地下につきましては前回、開放会議室が学童にありましたが、そちらと学校支援本部とPTA室を入れかえる形で調整を行っております。なお、工事の進捗に配慮してこちらの図では、学童の育成室については入り口の位置</p>

	<p>を若干調整することを行っております。</p> <p>調整の概略については以上です。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>22、23ページは、冬至における終日の日影図と時刻日影図が出ております。24、25ページは外観イメージ図で、鎌倉街道側から見たイメージ図と、25ページが善福寺川緑地側から見た外観のイメージ図になっております。</p> <p>では、26ページのステップ図の説明をお願いいたします。</p>
石本建築事務所	<p>26ページの工事ステップ図案で、各工事の段階を、時期を追って検討してみたのがこの図となります。</p> <p>左上からSTEP1、これは今年の令和2年7月から令和2年11月という5カ月の期間で、まず埋蔵文化財の本掘調査を行うことになりました。</p> <p>続いて右にずれてSTEP2、仮設校舎建設となります。令和2年12月から令和3年5月の約6カ月を使って、オレンジ色になっている仮設校舎建設工事範囲で、排水や給水の水もの、あるいは電気を仮設校舎に送り込むことを含めて、工事を進めていく6カ月間と考えております。</p> <p>なお、体育館の下のところなのですが、埋蔵文化財の跡地につきましては、粗造成といって荒れた状態になりますので、基本的には出入りできないように囲むことを協議している次第です。</p> <p>右にずれましてSTEP3となります。仮設校舎ができた後、既存のプール棟、特別教室を解体することを考えております。</p> <p>こちらにつきましては大きく囲んでいるところもございしますが、校舎際にある木の伐採や、あるいは水槽なども撤去を含めて大きく削り取っていますが、仮設校舎の周り、なるべく広くグラウンドをとれる形で考えたいと思っています。</p> <p>プールの解体ですが、東側の道路からの解体材の搬出を考えていて、三年坂からの入り口については、必要時に工事のための車両が入っての作業と考えております。</p> <p>続いて下の段に移りましてSTEP4、新校舎建設工事が令和4年1月から令和6年3月、約27カ月と今考えています。今回の工事につきましては三年坂の道路の拡幅、歩道の整備、あるいは鎌倉街道の道路の拡幅、歩道の整備もやっけていき、新校舎の工事とあわせて整備を考えている次第でございます。</p> <p>続いてSTEP5、今度は新校舎ができた後のステージになってまいります。新校舎ができた後ですが、今度は今まで使ってきた仮設校舎、既存校舎、体育館の解体を進めていって、STEP6の環境整備、校庭・グラウンドの整備という段階に移っていくと考えております。</p> <p>STEP5については令和6年4月から12月、約9カ月間。STEP6の環境整備工事につきましては、令和7年1月から同年10月まで約10カ月間。擁壁の整備も含めながら、進めていくことを考えています。</p> <p>以上です。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>27ページは横で見たときの関係図となって、最後の28ページは、これま</p>

進担当係長	での検討経過と懇談会委員の名簿となっています。 まとめの資料については以上です。
司会	ありがとうございます。 それでは、学校整備課長から。
学校整備課長	<p>懇談会のまとめとして、今ご覧いただいている平面計画の図面資料を載せています。これはあくまでも現時点で、今までの皆様からのご意見をもとに取り入れたおおよその内容を基本設計という形で反映させていただきました。</p> <p>今後、実施設計の段階、設計内容を詳しく詰めていく中で、当然動線や防火上の区画、施工上その他の問題でさまざまな修正が出てまいります。ご了承いただきたいと思います。</p> <p>この修正につきましては、区営繕担当と設計事務所で調整させていただくこととなりますので、よろしく願いいたします。</p>
司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>28ページにわたる改築基本設定のまとめ案、本当に感慨深いと思っています。これまで学校の視察から始まって改築基本方針の議論、そして校舎の配置、平面の計画、さまざまな議論を行いました。</p> <p>そして、さまざまな立場・ご意見がある中で、懇談会としてこのようにまとめられたことに対して、委員の皆様のご協力に感謝いたします。</p> <p>今日が最後の機会ということですので、1年間を振り返っていただいてご感想、また次の改築に向けてのご意見等々、お話しいただく時間を少し取りたいと思っております。</p> <p>それでは、少し短めにということで委員から一言ずつお願いいたします。</p>
委員	<p>PTAとしての立場で、このような機会に参加させていただけたことはすごく光栄だなと思います。</p> <p>やはりわからないことが多過ぎて、それを言葉でぶつけるのも自信がなくてというか、感情論ばかりになってしまう。子どもたちの思いでこういうふうにしてほしいという思いだけを伝えてよかったのかという自分自身の反省点もあるのですが、皆さんの思いも子どもたちのためにといいところは一緒かなというのはありましたので、その点で、この場でこういう話し合いに参加できたことはすごく光栄に思います。</p> <p>これからはやはり我が子も含めてになりますが、今の在校生の心理面や身体的な面というその辺のサポートもあわせてしっかりと、学校と行政の方が連携をとってやっていただければ、この上ない幸せです。ありがとうございました。</p>
委員	<p>私がこの学校に入ったころは、全部木造建築でございまして、体育館などはなかったのです。それがだんだんと設備がよくなって、最後にこういうきれいな学校ができることは、これからの子どもがうらやましいなど。</p> <p>同窓会として余り意見を言うことはできないのですが、細かいことを言えば、同窓会文庫が図書室の中でどうやって生かされていくかというのが、最大の関心事でございます。それは、実際の運営面で解決できる問題ですから、よろし</p>

	<p>くお願いしたいと思います。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>私はもう子どもたちが卒業してしまったので、OBという形になってしまいます。ただ、家が本当に杉二小の目の前なので、これから校舎がなくなり新しい校舎が建ち、その校舎をずっと眺めながら生活します。どんな校舎ができるのか、本当に楽しみです。</p> <p>会議も何度か途中来られなくて、なかなか意見も言えなかったのですが、何とかまとまったみたいで、いい学校ができることを期待しています。</p>
委員	<p>学校としては皆さんの英知を集めて、すばらしい学校にさせていただけるという感謝の一言でしかありません。後は、こうやって皆さんの力でここまで持ってきていただいたのを、どのように学校として運営していくかということが一番大事だと思っています。</p> <p>皆さんの思いを生かして、学校として最大限取り組んでいきたいと思っています。本当にお世話になりました。ありがとうございます。</p>
委員	<p>皆さん、お疲れさまでした。こういう参加の機会もありませんので、今回の一連の流れがどうだったのか比較できませんが、予算や工期の現実解と、親も含めて学校関係者の理想がいい感じにぶつかってでき上がったのではないかと思います。</p> <p>会議中もずっと申し上げていたのですが、やはり在校生の親の立場もありますので、もしかしたら今後は先生方の運営側、オペレーションの問題が大きくなると思います。</p> <p>ぜひ工期中に今の在校生たちが、どうしても窮屈な思いをする部分はあると思いますが、その中でもベストな学校運営をしていただきたいと切に願います。よろしくをお願いします。</p>
委員	<p>理想的なあらゆる課題に答えるものを見出すのは難しいわけですが、その中で最良の、ベストに近い案がまとまったのは本当にうれしく思います。</p> <p>本当に恵まれたいい環境にある中で一番いいものをつくるという課題でしたが、特に東側の善福寺川緑地公園との関係や、学年ごとの差をつくってうまく運営していくやり方とか、ほかの学校にない新機軸というか、ここにしかない特徴も僕は十分盛り込めたと思います。もちろん、日影の問題は完ぺきではないのですが。</p> <p>これからお願いしたいのは、さっき委員がおっしゃったように、5年生、お父さんの会などが皆一生懸命出したいいアイデアがどうやって実施設計の過程で反映されていくのか、そこはきちんとやっていただきたい。細かいところも含めて夢のあるいろいろなものを盛り込めたら、すごくいいものになるのではないかと。ただ、どうやってそのプロセスを担保、保証していくのかというのは、工夫していただきたい。</p> <p>それから、やはり4～5年かかることなので、ステップ図に残された工程の白抜きの部分を拝見していて、使用できる校庭の範囲が非常に厳しい時期もあ</p>

	<p>りますが、その制約の中でよりよく使っていく工夫が必要ではないかと思ひます。</p> <p>これからもますます重要になると思うので、意見の交流ができればと期待しています。どうも皆さん、ありがとうございました。</p>
委員	<p>事務局からは恐らく天敵と、完全に思われたと思ひます。そういうつもりはなく、とにかくいい建物をつくってもらいたいということで、私が経験したことを言っている。そういう意味では、大変不愉快に思わせたことは本当に謝ります。</p> <p>先ほどの太陽電池の件は、全部納得しておりません。私宛てに、メールを出しておりますので、項目についてきちんとしてもらえませんか。要するに設備設計がこれからメインになります。建物をつくってもランニングコストが物すごくかかる。これが実施設計のときに一番重要なところですよ。</p> <p>私は今後もお手伝いをしたいと思ひます。何かあったらどんどんメールしていただければ、メールで答えたいと思ひます。いずれにしても、最終的にいい建物が必ずできると安心しております。</p>
委員	<p>皆さん、今日を入れて9回、ご苦労さまでした。私は個人的には、地元の町会長として、皆さんの英知でいいプランができて、これに沿って新しい校舎ができるということは大変うれしいことであり、委員として決まったことにほっとしています。</p> <p>いい学校ができるのにこれから7年間かかるというのだから、私はいないかもしれない。それだけが心残りかなと。プランは決まったが、校舎を見ることができない。</p> <p>ヒマラヤ杉が2本立つというので、なるべく長生きして、それを見たいと思ひます。皆さん、ご苦労さまでした。</p>
委員	<p>大変お疲れさまでした。ありがとうございました。</p> <p>私も我が母校の新しい校舎の建設に多少なりともかかわらせていただいたことに対して、大変光栄に存じますし、すばらしい校舎ができ上がって、そこで子どもたちがまた元気いっぱい学び、遊び、さまざまな声が聞こえてくるということを大変希望を持って、その日を迎えていきたいと思ひています。</p> <p>建設に関しては素人でしたが、とんちんかんことをいろいろと言いましたが、そういう意味ではすばらしい機会を与えていただいたということに対して、感謝しています。</p> <p>大変ありがとうございました。</p>
委員	<p>同じく昭和21年、当校入学の私としましては、今回曲がりなりにも改築基本設計がまとまったことを、非常に感慨深く思っています。</p> <p>これからは、子ども目線でも細部を詰めていただいて、私の東一会の地域の子子どもたちが、喜んで新しい校舎の学校に通うことを期待しています。よろしくお願ひします。</p>

委員	<p>最初にお話をしたかもしれませんが、私が在籍しておりましたとき、最初の鉄筋校舎ができ上がった。それが新たに建て替えになるときに町会長として、運営委員として携われたことは、非常に運命を感じるという大げさですが、いろいろと縁があるのかなと思います。</p> <p>今後もまた、私の地元の町会として防災関係等でいろいろとご厄介になることがあると思いますので、それについてもなかなかよくできていると現在満足しております。</p> <p>これからも携わっていくことが多いと思いますが、よろしくをお願いします。</p>
委員	<p>どうもありがとうございました。初めから熱い思いがずっと伝わって来た懇談会でした。そして今の保護者の方や子どもたち、そして地域の方の思いがだんだん煮詰まってきていい形になったかなというのが、前回に「熊野神社から善福寺川に緑がずっと抜ける」という言葉を聞いたときに、ちょっと夢が湧いてきたという感じがいたしました。</p> <p>今日は最後ということですが、今いらっしゃる校長先生を初め、細かいところをどんどん見直しながら、積み重ねて、建築に当たっていただきたいと思います。</p> <p>先ほども出ました校庭の件などで、本当に狭くなっていく時期があります。桃二の場合もそうでした、その都度全力でどうしたらいいか打開案を考えて、私の耳に聞こえなかっただけかもしれませんが、子どもや保護者からの苦情はありませんでした。</p> <p>地域の方が校庭を使っていたり、いろいろな面でこの学校を活用したりしてきた行事等、そういうものがあつたら、絶対に簡単にあきらめないで、ぜひ、子どもたちのために引き続き続けていただけたらありがたいと思います。</p> <p>本当にありがとうございました。</p>
委員	<p>どうも皆さん、お疲れさまでした。これまで皆さんと一緒に議論を深めてまいりまして、校舎の建築計画については、大変バランスがとれていて、すごく高いレベルでいろいろなことをまとめることができたのではないかと思います。なので、ここまでは完全ではないにしろ、とてもよく皆さんの議論が反映できたのではないかと考えています。</p> <p>その上で今後、こういった形で地域、PTAの方も含めて学校をどう使っていかうかという議論をしていくと思いますので、この校舎ができ上がる前からどうやっていくのかという議論を早目に始めて、ぜひ上手に学校自体を使ってもらえればと思います。もちろん子どもたちが使うのは前提ですが、いろいろな方が学校を上手に使えるように、議論をぜひ深めていってほしいと思います。</p> <p>もう1つは植栽についてです。先ほど熊野神社からのつながりの緑の話がされましたが、そういう景観的な植栽ということと、もう1つは生徒さんへの教育的な面での植栽についてもぜひいろいろな方面から議論を深めて、引き続きいいものができるように検討していただきたいと思います。どうもありがとうございました。</p>

<p>司会</p>	<p>ありがとうございます。いろいろな方に集まっていただいて、この9回の懇談会をまとめていくことができました。</p> <p>座長という立場で十分な役を果たせたかということ、本当に思い返すところはたくさんありますが、皆さんの力によってすばらしい、また期待の持てる基本設計案がまとまりましたので、さらにチームワークを高めていって実施設計、そして本校舎ができるまで、ぜひかかわっていきたいと思っています。本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。</p> <p>時間もありますので、本日出されたご意見などは事務局と調整させていただいて、一任させていただければと思っております。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、事務局から事務連絡をお願いいたします。</p>
<p>教育施設計画推進担当係長</p>	<p>ありがとうございました。今回の会議も含めて懇談会のまとめができましたら、委員の皆様にお送りいたします。皆で落成式を迎えましょう。1年にわたりどうもありがとうございました。</p> <p>以上です。課長、お願いします。</p>
<p>学校整備課長</p>	<p>私のほうから一言。1年の長きにわたってご意見をいただき、ありがとうございました。途中どうなるかと思った場面もございましたが、何とか軟着陸できたと思っています。ご尽力された校長先生初め地域の皆様、関係者の皆様、ありがとうございました。</p> <p>私事ですが、実は4月1日から保健所に異動することになったので杉二小から離れますが、来年度はお話に出ているようにいよいよ実施設計に入っていきます。仮設の校舎が建ち、その後工事着工と順次進んでいきますので、引き続き地域の皆様、学校関係者の皆様にはまだまだご助言をいただく形になります。</p> <p>引き続き、杉二小学校をどうぞよろしく願いいたします。本当にありがとうございました。</p>
<p>学校整備担当部長</p>	<p>本当に皆様ありがとうございました。私は4月以降も引き続き、この杉二小を担当させていただくことを大変光栄に思っています。これは本当です。ありがとうございます。</p> <p>この学校だけではありませんが、当然、杉二小も私の仕事、区長からいただいた大きなミッションだと思って、しっかりやりたいと思っています。</p> <p>振り返りますと、第1回懇談会が開かれたのは、まだ平成の時代でした。平成31年4月26日、ひもといてきましたが、最初のご挨拶で、私は皆さんと一緒に夢と課題を共有すると申し上げました。</p> <p>たくさんの夢を語っていただいたと思っています。子どもたちにどういう教育環境を整備するか、あるいは周りの緑、ビオトープをどうするか。成田にはそういった歴史もあるのだということも含めて、さまざまな夢をいただき、この学校の案に反映できたかなと。</p> <p>ただ一方で、課題もしっかり共有しました。夢だけで学校はできないということを皆さんにもご理解いただけたかと思っています。</p>

	<p>その際たるものがやっぱり校庭への日影でした。本当に9～10月はこの議論に終始し、秋口に最初の案ができたときには、確かに校庭への日影は多いけれどもというご説明は何度もいたしました。</p> <p>ただ、年末の説明会、住民の皆さん、地域の方々、成田の皆さんの考え方が、やはり大きいなど。これは何とかしなければいけないということで、私も暮れから正月にかけて区に戻り、区長とも議論しました。</p> <p>区長から、あの案は修正するのと言われてきたとき、私は修正しますと言いました。それが正月明けだったと今思っています。それは、成田の皆さんの熱い思いがあるからです。</p> <p>役所は1回出した案を変えることは余りありませんが、ここは変えますと私は申し上げた。それは、夢と一緒に課題も共有していただいたのが、この成田の皆さんだと思ったからです。あとは、さまざまな課題はありましたが、皆さんのご協力でここまで何とか来ることができました。</p> <p>私は、今日は出発点でゴールではないと思っています。実施設計でこれから具体的に校舎ができ上がってきますから、さまざまなアイデアを入れていくこととなります。</p> <p>子どもたちのアイデア、それから取り入れ切れなかった皆さんのアイデアが様々あります。1つ1つ我々のほうでも吟味して、取り入れられるものは特に取り入れていきたい。</p> <p>その1つが、今日お見せした中のビオトープ。ちょうど北東のところに入れてみましたが、ああいう形で1つ1つ、これからいただいた宿題を解決させて、26ページに工事のステップ図案を出しましたが、先ほど、要所要所でしっかり説明してくれということもありましたので、こういった懇談会の形式にはならないと思いますが、折に触れて説明会などでここまで進みましたということは皆様の耳にも入れて、またご意見をいただきたいと思っています。</p> <p>本当に1年間、長い間ありがとうございました。</p>
司会	それでは、拍手をもって終了したいと思います。（拍手）